（様式第４号）　**上田市交流文化芸術センター運営協議会　会議概要**

１ 審 議 会 名	第３回上田市交流文化芸術センター運営協議会
２ 日　　時	令和７年 12 月 11 日　午後２時 00 分から午後４時 00 分まで
３ 会　　場	サントミューゼ　大スタジオ
４ 出 席 者	荒井洋文委員、今井拓也委員、岩木功委員、田中美恵子委員、中村彰委員、馬場雄一郎委員、平田利江子委員、（五十音順）、（助言者：吉本光宏（一財）長野県文化振興事業団理事長）
５ 市側出席者	荻原館長兼総合プロデューサー、堀内副館長、中村副館長補佐、小泉舞台技術係長、田澤事業係長、馬場総務係長
６ 公開･非公開	公　開　・　一部公開　・　非公開
７ 傍 聴 者	１人　　記者　０人
８ 会議概要作成年月日	令和７年 12 月 19 日

協　　議　　事　　項　　等

第３回　交流文化芸術センター運営協議会

１　開会（堀内副館長）

２　あいさつ（荻原館長）

３　会議事項（進行：平田会長）

（1）上田市交流文化芸術センター第３期運営管理計画の策定について

【説明 1】（事務局）資料に沿い、上田市交流文化芸術センター 第３期（令和３年度から令和７年度）運営管理計画の実績成果及び課題について説明

【質疑】

（委員）「市民」という書き方について、市民だけが利用するわけではない。また、障がい者などへの配慮も含めて言葉の使い方について配慮が必要では。市民＝健常者に感じてしまう。どういう人が利用するか、いろいろなマイノリティ方がいるので配慮してはどうか

文化振興審議会の方での言い方のニュアンスを参考に。

（事務局）現在の社会的な背景を考えたときに、芸術文化に触れる機会の格差をなくすというところであり、もう少し状況分析した文言を追加する。表現の仕方の深度を深める。

（委員）運営管理主体について、内容的には良いと思うが、中身が見えてこない。

外部委託の記載項目などについて、どの単位で委託するのかなど、これからどういう検討をしていくのか裏付けの資料として「こんなことがあった」などがあった方が良い

（事務局）検討する。

（委員）ホームページが大変良い。写真と文章など分かりやすく、アーカイブとしてやったことを残していくことを大切にしているところが良いと感じている。

（委員）知的発達障害へ向けたコンサートを千住真理子さんが 20 年以上前から取り組んでいる。近年共生社会の中でこうした方が増加しており、例えばこうした方だけではなく、放課後児童クラブや放課後児童デイサービスに行く児童などに何かしてあげられることは無いか。一般と障がい者とで同じ経験をさせてあげたい。企画できないか。

（事務局）放課後デイへ向けた取り組みは今後検討課題である。今後のアウトリーチ先の一つとして計画していくことも検討していきたい。養護学校では実施したことがある。継続したいという思いはあり必

要性も承知している。
「多様な背景を持つすべての方々の豊かな文化的生活環境の実現に貢献するよう」の趣旨に基づき、事業展開を検討する。

【コメント】（助言者）

・公演事業についても、もう少し「（交流文化芸術センター）ならでは」が表現されると良いと感じる、例えばサブタイトルのようなものでも良い
・ふれあい事業について、不登校者や特別支援、フリースクール、子ども食堂などが多くなっているので、全校にやるからすべてかというとそうではなくなってきている。そういうことも視野に入れて行ってはどうか
・実験的演劇工房は素晴らしいが、課題もあるだろうが今まで通り続けてほしい
・芝生の料金設定がもったいない。検討を。

（委員）利用者から「友の会」など、年会費の検討をしてはどうか。これにより利用者にもメリットがあることをしてみて収入の増加につながる可能性があるのではないか

（事務局）オープン時から検討はされたが、郵送手続きや会員管理など事務手続きが非常に大変な状況であるため見送られており、全国的にも終了している傾向があると承知している。

4　その他

（事務局）次回の協議会開催日程等について確認

5　閉会（副館長）